



サイクル・エイド事業

平成 29 年度 事業報告書



自転車がつなぐ国際交流の輪 タイ

公益社団法人 アジア協会アジア友の会



この事業は、競輪の補助金を受けて実施しました
<http://ringring-keirin.jp>

《目次》

1. 事業の概要	1
2. 公益法人 アジア協会アジア友の会について	1
3. 平成29(2017)年度事業報告	2
(1) 自転車の寄贈	2
(2) 事業推進のための広報活動の実施	7
(3) 国際交流プログラム	8
◆サイクル・エイド事業 写真	10
【資料】	
サイクル・エイド支援会議 規約	18
サイクル・エイド支援会議 委員名簿	19
サイクル・エイド事業の経過	20
サイクル・エイド事業実績の推移	21

1. 事業の概要

「放置自転車を再生し、世界の子どもたちに贈ろう！」を合言葉に誕生したサイクル・エイドは、放置自転車を府内市町村の協力のもと、修理、再生し、海外の子どもたちに贈る事業である。

大阪府内の放置自転車の数は、年間 50 万台にのぼり、うち約半数は引き取り手がないために大きな社会問題、環境問題となっている。一方、アジアやアフリカでは学校の数で十分でないため、長時間歩いて学校に通うか、遠すぎるために通学できない子どもたちが数多くいる。

こうした子どもに自転車を贈ることで、教育環境の向上などに寄与し、国際交流の絆を深めることをこの事業の目的とする。放置自転車を修理、再生し、リユースの好循環によって、大阪府内の環境負荷を軽減し、資源循環型社会に向けて地球環境に優しい自転車の活用を促進することを目指す。

2005 年度より、本会が事務局として事業を実施。大阪府等がメンバーとなったサイクル・エイド支援会議を設置し、事業を円滑に進めていくようサポートしている。

(参考：資料「サイクル・エイド支援会議規約」
「サイクル・エイド支援会議委員名簿」)

2. 公益社団法人アジア協会アジア友の会について

公益社団法人アジア協会アジア友の会は、アジアに暮らす人々のネットワークを通じて「貧困なきアジア共同体」の形成を目指す、国際民間協力団体(NGO-Non Governmental Organization)である。生命にとって最も大切な水、飲料水の欠乏が深刻なアジアに井戸を贈る運動として 1979 年に発足した。

現在、それぞれの地域に見合った活動をよりきめ細かに行うために、アジア 18 ヶ国 69 ヶ所にある現地提携団体とネットワークを形成し、その中央事務所を大阪にしている。

アジアの人々との「理解と協力と連帯」を目指して、安全な飲料水(井戸)供給のほか、植林、教育、生活向上などの様々な自立開発協力事業、各国ボランティア団体の育成、国際交流活動(ワークキャンプ等)の推進、国際理解教育、また地球の自然環境保全活動を主たる事業として活動している。



3. 平成 29（2017）年度事業報告

(1) 自転車の寄贈

◆自転車の提供 計 634 台

放置自転車を収集するために、府内各市町村へ協力の呼びかけを実施。今年度は下記の 6 ヶ所から協力を得ることができた。回収された自転車は各市で選別、修理、再生後に泉大津市にある堺泉北港へ運搬され、海上輸送された。

◆府内協力市及び台数

堺市 200 台、八尾市 106 台、泉佐野市 100 台、
大阪市 100 台、泉大津市 50 台、府公園課 78 台

今年度はタイに 350 台、カンボジアに 284 台、合計 634 台の自転車が寄贈された。事業開始以来、アジア、アフリカの 10 カ国に合計 30,707 台の自転車を贈ることができた。

タイ	350 台
----	-------

タイに贈られた自転車は、TAFS（注 1）の協力のもと、ラーチャブリー県の子どもの通学に加え、コミュニティワーカー、医療従事者の巡回、貧しい農民、病院（脚の手術をおこなった患者のリハビリ用）、環境保全の活動に従事する人々に手渡され、有効に活用されている。

ラジャットハット大学は、タイの伝統的な文化を学問としてまた実践を通して学ぶユニークな大学である。約 8,000 人の学生が在籍しているが、半数は貧しい家庭の出身であり、遠方から通う学生にとって、自転車は非常に大きな助けとなっている。自転車が手渡される前に、受益者には安全講習をおこない、メンテナンスも含め事故のないよう、指導がおこなわれた。

チョーンブン郡では今回の寄贈をきっかけに、NGO、地方行政、村人、学校の先生、保護者、地元有力者等による 50 名近くのメンバーを有するサイクル・エイド委員会を形成し、今後も人と環境に優しい自転車で地域の生活改善に取り組むこととなった。

自転車の国内輸送費をつくるために、地域では様々なチャリティプログラムがおこなわれ、事業の広報をおこなうとともに、多くの市民の協力のもと、自転車を子ども達に届けることができることとなった。

また、委員会がつくられたことにより、新たな地域のネットワークが形成され、情報を共

有し地域の他の問題や、困難な状況にある人々を助けるための新たなプロジェクトも立ち上がってきている。今まで同じ地域に住みながら、あまり接点のなかった富裕層と貧困層も同じ目的に向けて一緒に活動することができ、今後の協力体制にもつながっている。

3月15日～18日には日本人参加者とタイの寄贈先のメンバーで国際交流プログラムがおこなわれ、国境を越えた様々な意見交換がおこなわれた。

【寄贈先一覧】

	受益者	台数
1	ムーバンチョンブリラジャトハット大学	223
2	チョーンブン郡	50
3	クルラルンサリット学校	10
4	アヌバンチョンブン学校	5
5	バーンチョンブン学校	5
6	バーンノンカナック学校	5
7	バーンタラドクアイ	5
8	バーンランムアン学校	5
9	プカエ学校	5
10	ノンクラティム学校	5
11	ワンクル学校	5
12	バーンブープライ学校	5
13	ノンサンチャオ学校	5
14	バーンノンプル学校	5
15	バーンブムングラジャドンブムルン学校	5
16	ハイタチャン学校	5
17	カオピントン学校	2

※注1

◆タイ・アジア友の会=TAFS (Thai Asian Friendship Society)

責任者：ニラン・チャンタ氏 所在地：タイ・バンコク市

活動範囲：タイ国全域 基本的目標：貧しい人々の生活改善と教育支援

【沿革】タイで最も貧しい10県の1つであるナン県出身のニラン・チャンタ氏が、北部タイの窮状を支援するため、1994年に発足。バンコクに事務所をおき、ナン県、チェンマイ県、ランブーン県、チェンライ県、ランパーン県、ノタブリ県に各部会を持つ。部会と相互に協力しながらトイレや給水タン

クの建設、学校や寄宿舍の建設を通じて、貧農の子ども達の教育支援、農村生活改善、国際交流等を行っている。

平成 17 年度よりサイクル・エイド事業を通して、地域の環境教育、自然環境保全に積極的に取り組んでいる。

【活動】農村生活改善、教育支援、国際交流、環境保全等

ラーチャンブリー県



チョーンブン郡



タイ寄贈先 地図



タイの国技 ムエタイ

カンボジア 284 台

カンボジアに贈られた自転車は、KAFS（注2）の協力のもと学校に通う子ども達や先生、地域のコミュニティワーカーや自転車を必要としている農民達に寄贈され、通学や仕事のために活用されている。

自転車の利用で地域の農民達が効率よい生活環境に変えていくことにより、女性の社会進出や生活向上へつながっている。また勉強を続けたいが、家庭の経済的状況のため毎日の通学や進学をあきらめていた小・中・高校生の子供達に寄贈され、毎日安全に通学し、継続して教育を受けられるようになった。

自転車を受け取った子ども達や家族はとても喜び、より熱心に勉強をおこなうようになってきている。またクラスにおいてもリーダーシップを発揮し、積極的に学校の行事にも参加するようになってきた。同級生にも良い影響を与えている。

自転車の寄贈は、公平により必要とされている人々に贈れるよう、政府、NGO、村の組織等で協力体制をとりながら、取り組んでいる。今回はプレイベン州ピーレアン郡メサプラチャン地区にある下記の村々に寄贈された。

KAFS スタッフは各寄贈先の家庭を訪問し、事業説明と共に状況の調査もおこなった。

各村では多くの村人が出席する寄贈式がおこなわれ、事業への理解と自転車をより効果的に利用できるように協力の呼びかけがおこなわれた。

【寄贈先一覧】

	受益者	台数
1	メサプラチャン村	80
2	コンポントレア村	44
3	アンドウン村	40
4	ミーモル村	40
5	プレアック・チャンパ村	40
6	ヨート村	40

※注2

◆クメール・アジア友の会＝KAFS (Khmer Asian Friendship Society)

会 長：セン・リム・ネウ氏（内閣官房事務次官）

所在地：カンボジア・プノンペン

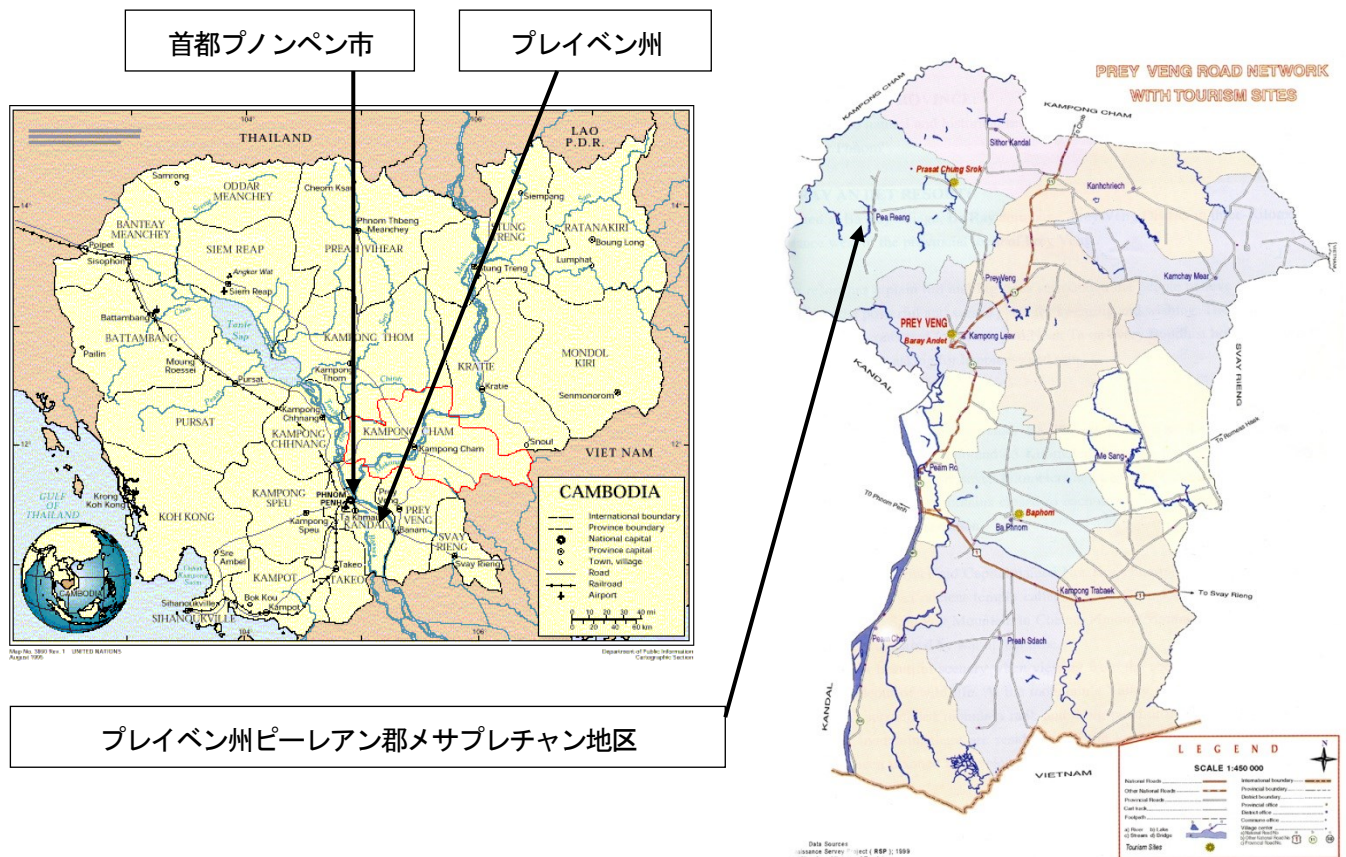
活動地域：タケオ州、コンポンチュナン州、コンポンスプー州、カンドール州周辺

基本的目標：国家復興に向けた農村開発事業を通じての自立支援

【沿革】 KAFS は 1994 年にカンボジアにおけるアジア協会アジア友の会の提携団体として
 発足。事務局長のロン・チョーン氏が外務次官ウン・シアン氏(当時)の推薦で、イン
 ドにおいて開催されたアジア国際ネットワークセミナーに参加したのがきっかけ
 となり、設立に至った。

【活動】 井戸建設、教育支援、少額貸付、牛の銀行、グリーンスカウト運動等

カンボジア寄贈先 地図



(2) 事業推進のための広報活動の実施

① 事業 PR 用パネル・パンフレットの活用

事業の説明や写真を載せたパネルやパンフレットを活用し、イベント等で広く一般への広報活動をおこなった。

② 公益社団法人 アジア協会アジア友の会 HP による情報発信

<http://jafs.or.jp/action/cycle-aid/>

大阪府 HP による情報発信

<http://www.pref.osaka.lg.jp/kokusai/cycleaid/>

③ 広報媒体による情報発信

JAFS 機関紙「アジアネット 135 号」に掲載し、協力者をはじめ様々なプログラムで配布し、活動について紹介した。

④ 各種イベントとの連携、企業への協賛金依頼

大阪府自転車軽自動車商業協同組合からは修理キットの無償提供、港までの運搬のご協力をいただいた。

さらに下記イベントにおいてサイクル・エイド事業の活動紹介を行い、募金活動、協力の呼びかけ等を実施した。

サイクル・エイド関連国内プログラム

◆ サイクル・エイド支援会議開催・意見交換・事業報告会

日程：2017 年 6 月 22 日(木) 場所：大阪府

参加者：10 名

内容：寄贈先での自転車利用状況や活用方法について報告会をおこなった。現地で自転車を必要としている村の状況や子ども達を取り囲む環境についてより深く知ってもらいことができた。また、この事業から派生して環境保全の取り組みや、福祉環境の改善、地域の他の事業への協力体制も徐々に強まってきていることから、事業を継続しておこなっていくこととなった。

◆ 泉大津フェニックス野外コンサート

日程：2017 年 8 月 26 日(土)、27 日(日)、
9 月 2 日(土)、3 日(土)、10 日(日)

場所：泉大津フェニックス

主催：泉大津フェニックス夏フェス 17 実行委員会事務局

来場者数：合計 約 71,500 人

<内容>

泉大津フェニックスが誕生した新しい町「夕凧町」では、空と海、そして全面芝生という心地よい空間で、野外コンサート等各種イベントが開催されている。今年度はRUSHBALL2017、OTODAMA'17～音泉魂～、OSAKA HAZIKETEMAZARE FESTIVAL 2017が開催され、多くの音楽ファンを魅了した。コンサート主催者の多大なる協力のもと、会場内のブースでサイクル・エイド事業の活動紹介とチャリティ出展をおこない、海上輸送への協力を得ることができた。

◆国際交流プログラム

【フィリピン料理教室】

日程：2017年4月11日(火)

場所：クレオ大阪西 参加者：14名

【タイ料理教室】

日程：2017年10月24日(火)

場所：クレオ大阪西 参加者：16名

内容：寄贈国の料理を通じて、楽しく身近にその国を理解できるよう、日本に住むフィリピン人を講師に迎え、料理教室をおこなった。参加者は家庭料理を学びながら、フィリピンの習慣や文化等についても話を聞き、プロジェクトの背景についても知ることができた。

【タイ 国際交流プログラム】

日 時：2018年3月15日(木)～18日(日)

場 所：タイ ラーチャンブリー県

参加者：約250名

内 容：自転車寄贈先であるムーバンチョンブリラジャトハット大学を拠点として自転車贈呈式典や行政・学校（教師・保護者・子ども）・農民等の村人達を対象に、現地提携団体とともに本事業の目的・目指すところ・事業内容等の紹介、説明をおこなった。

本事業に関係する様々な分野の協力者と意見交換をおこなうことで、今後の事業の必要性や進め方や取り組みについて話し合うことができた。また、地球や地域の環境保全について意見交換をおこない、次世代のために協力体制を組んで環境保全に取り組み、継続した活動をおこなっていくことを確認した。

また地球環境保全への意識を高めることで、同じ地球市民としての視点を持ち、お

互いに協力しあう国際交流の推進活動を広げていくことが期待される。自転車を通じて、日本と各国の国際交流が活発になり、また、事業を継続することで人と人の絆が深まり、草の根の理解と協力の輪が広がってきている。

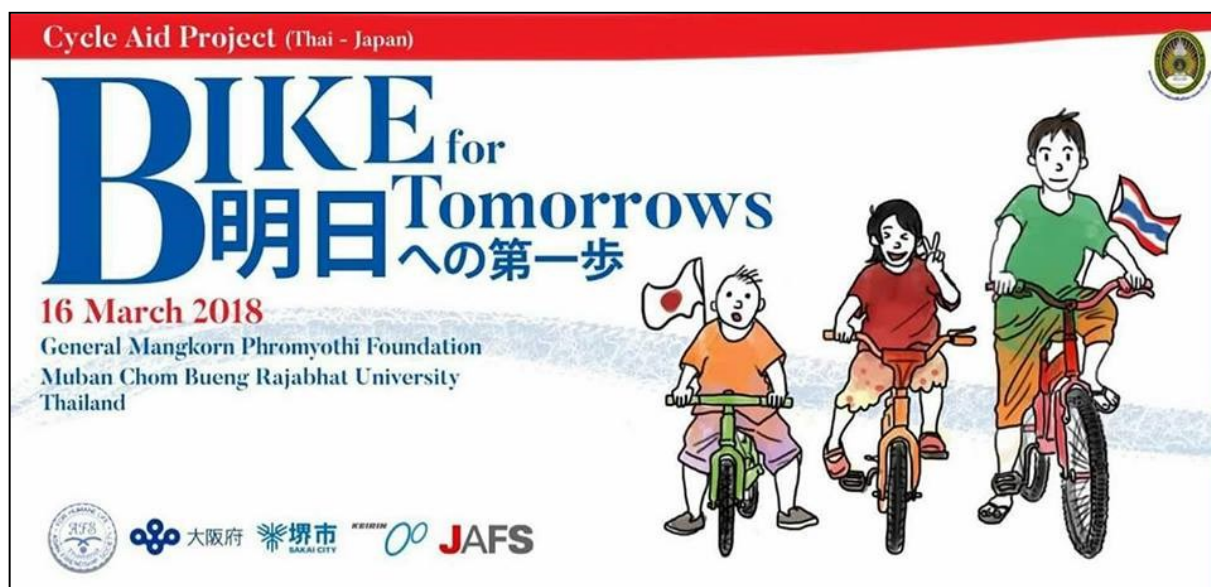
【国際交流プログラム】

日程：2018年3月20日(火)

場所：かんぼうビル会議室 参加者：28名

内容：サイクル・エイド事業活動報告、国際交流、意見交換

※この事業は競輪の補助を受けて実施しました。



タイ サイクル・エイドメンバーが作成した広報用デザイン



デザインを活用し事業の地域への広報や協力者の呼びかけをおこなった



タイメンバーとサイクル・エイド事業に関する意見交換



自転車贈呈式典のために準備された自転車（タイ ラーチャブリー県）



タイ 大学の自転車クラブがメンテナンスや安全講習を行う



タイ 自転車贈呈式と事業について説明



タイ 自転車地域の子供達の通学の支えに



タイの伝統的な医学を学び地域に貢献できる学生たちを育成



カンボジア自転車贈呈式典には多くの村人・子ども達が出席



カンボジア 自転車を一台ずつ寄贈者に手渡していく



カンボジア 自転車贈呈式典で事業説明



カンボジア 贈呈された自転車を器用に乗りこなす子ども達



カンボジア サイクル・エイド委員会のメンバーと子ども達



国際交流プログラムで事業について説明（大阪）



アジア家庭料理教室 国際交流プログラム（大阪府大阪市）



タイの新聞が事業について記事を掲載

サイクル・エイド支援会議規約

(名称)

第1条 本会は、サイクル・エイド支援会議という。

(目的)

第2条 本会は、大阪府内に放置されている自転車等を再生し、これをアジア・アフリカをはじめ、自転車が必要とする子ども達等に贈る、社団法人アジア協会アジア友の会が実施するサイクル・エイド事業が、円滑に推進できるよう助言及び支援を行うことを目的とする。

(組織)

第3条 本会は、前条に掲げる目的に賛同し、推進する関係団体（以下「構成団体」という）をもって組織する。

(委員)

第4条 構成団体を代表する者をもって委員とする。
ただし、委員は代理をもって充てることができる。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

(役員)

第6条 1 本会に、次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 1名
- (3) 事務局長 1名

2 委員長及び副委員長は、委員の中から互選により選任する。

第7条 1 委員長は、本会を代表し、会務を統括する。

2 副委員長は、委員長を補佐し委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代行する。

3 事務局長は、社団法人アジア協会アジア友の会の事務局長をあて、本会の事務を司る。

(顧問)

第8条 本会に、顧問を置くことができる。

(専門部会)

第9条 本会に、次の専門部会を置く。

- (1) 資金調達部会
- (2) 物資調達部会

(会議)

第10条 必要に応じ、会議を開催する。

附則 この規約は平成17年4月1日から施行する。
この規約は平成21年3月25日から施行する。（一部改正）

サイクル・エイド支援会議委員名簿

平成 30 年 3 月

〔委員長〕

松井 一郎

大阪府知事

〔副委員長〕

萩尾 千里

公益社団法人 アジア協会アジア友の会会長

〔委員〕

児玉 達樹

大阪商工会議所 常務理事兼事務局長

竹山 修身

堺市長

阪口 伸六

大阪府市長会 会長（高石市長）

中山 行男

大阪府自転車軽自動車商業協同組合 理事長

野澤 隆寛

一般財団法人 自転車産業振興協会 会長

堀井 良殷

公益財団法人 関西・大阪 21 世紀協会 理事長

松本 昌親

大阪府町村長会 会長（千早赤阪村長）

吉川 秀隆

公益財団法人 大阪国際交流財団 理事長

吉村 洋文

大阪市長

渡辺 恵次

一般社団法人 自転車協会理事長

〔事務局長〕

村上 公彦

公益社団法人 アジア協会アジア友の会 事務局長

〔事務局：（公社）アジア協会アジア友の会内〕

〔顧問〕

アンドリュース ヤング

元アトランタ市長

下中 融

元熊取町長

永山 一郎

特定医療法人三和会 会長

向江 昇

元泉佐野市長

* 委員。顧問は五十音順

サイクル・エイド事業の経過

- 平成 9 年 4 月：アトランタ市の元市長、元米国国連大使であるアンドリュー・ヤング大使の呼びかけに応え、大阪府、関係市等で委員を構成するサイクル・エイド委員会を発足。
- 平成 15 年 8 月：第 11 回サイクル・エイド委員会で、今後の運営のあり方について検討を行うことを決定。
- 平成 16 年 8 月：第 12 回サイクル・エイド委員会において、平成 17 年度からサイクル・エイド事業を、社団法人アジア協会アジア友の会が主体となって実施することを了承。
- 平成 17 年 3 月：サイクル・エイド支援会議準備会議開催。
- 平成 17 年 4 月：社団法人アジア協会アジア友の会が実施主体となるサイクル・エイド事業がスタート。また、サイクル・エイド事業の円滑な推進を図るための支援を行う「サイクル・エイド支援会議」が発足。

サイクル・エイド事業実績の推移(単位:台)

2018年3月31日

年度(概)	9～16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	計
西暦	1997～2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
寄贈台数	15,706	1,890	2,155	2,167	1,550	1,890	680	410	740	701	731	703	750	634	30,707
寄贈先															
南アフリカ	11,073														11,073
フィリピン	1,080	579	1,090	807	880	510	350		350		350	353	375		6,724
スリランカ	1,150	807													1,957
カンボジア	683	504	725	680							381	350		284	3,607
タンザニア	1,180														1,180
イスラエル	340														340
タイ			340	340	670	1,380	330	370	350	701			375	350	5,206
ベトナム				340											340
マダガスカル	200														200
東日本被災地								40	40						80

年度(概)	9～16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	計
西暦	1997～2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
協力市寄贈数	16,556	1,040	2,155	2,167	1,550	1,890	680	410	740	701	731	703	750	634	30,707
提供市															
堺市	7,057	440	935	940	320	360	140	80	210	200	200	204	200	200	11,486
泉佐野市	2,832	100	300	200	200	200							100	100	4,032
八尾市	2,325		200	220	280	510	200	100	270	200	200	209	200	106	5,020
松原市	1,280	200	150	150	110	200									2,090
阪南市	542	120	120	120	150	120	120	100	120	101	100	100	100		1,913
吹田市	500	100	45												645
大阪市	612									100	100	100	100	100	1,112
泉大津市	300		100	101	130	200	100	50	100	100	100	90	50	50	1,471
藤井寺市	299														299
泉南市	51	80	155	156											442
箕面市	285														285
柏原市	250														250
高石市	30		150	200	120	180	80	30							790
貝塚市	100														100
豊中市	50														50
寝屋川市	50			80	240	150									520
和泉市	20														20
四條畷市							30	40	40		30				140
府公園課														78	78
民間	3										1				4
保管						-20	10	10							0
スクラップ	-30					-10									-40



平成 30 年 6 月発行

編集・発行 公益社団法人 アジア協会アジア友の会 (JAFS)

〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-2-14 肥後橋官報ビル 5F

TEL : 06-6444-0587 FAX : 06-6444-0581

ホームページ : <http://www.jafs.or.jp> E - メール : asia@jafs.or.jp